

平成28年11月1日

研修報告書

松戸市議会議員
大塚 健児

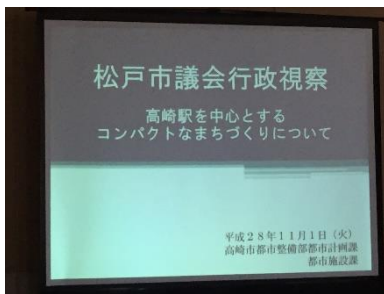
研修:第二期高崎市中心市街地活性化基本計画について

主催:群馬県高崎市

日時:平成28年11月1日(火) 13時~15時

場所:高崎市議会

【研修報告】



まずは新幹線の停車する都市であり、高速道路も通過する、何かと交通に恵まれているネットワークを説明。高崎市は群馬県の玄関口となっています。

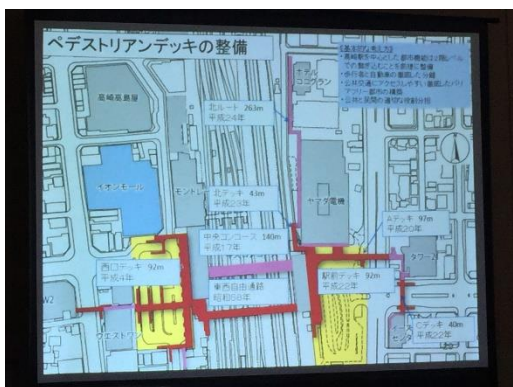
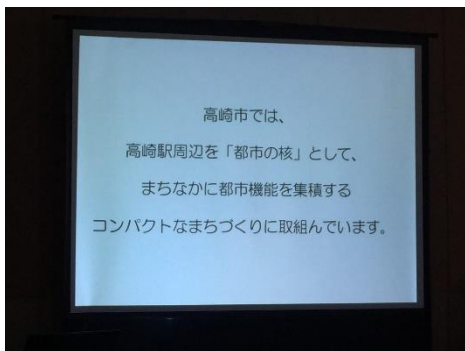


高崎駅周辺には、まもなく完成の高崎アリーナ。

また今年度着工予定の芸術文化ホール。

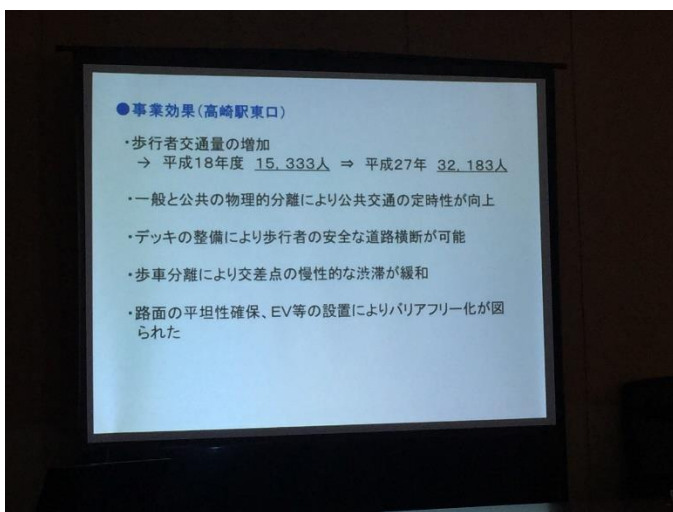
また来年度群馬県が着工予定のコンベンションセンター。

これだけの集約した公共施設再編計画を行うのに、巨額の財源が必要となります。しかし、国の補助金で賄いつつ、魅力ある中心市街地を必ず実現するとのことでした。



いかにして交流人口を増やすのか。

歩道デッキの見直し、駅前広場の見直しを積極的に行っています。



平成18年から平成27年にかけて具体的な事業効果も検証できたとのこと。ハード面からソフト面まで、しっかりと分析をし、着実に街づくりを進めてきた様子が伺えました。

(まとめ)

高崎市を視察して感じたことは、みごとな公共施設の建設が進められているということです。財源不足の時代に、これだけたくさんの公共施設を建設すると、より際立って見えます。すると、観光客から見た高崎市は大変魅力を感じ、移住という選択肢を選ぶ可能性が高いと思いました。財源不足だからといって、緊縮財政を行うのか、それとも先行投資を行うのかは、行政の長の判断となります。いずれにしましても、双方をよく考えた上で、時には思い切った舵取りが必要で、魅力ある街づくりを行っていくべきと考えました。

以 上